パラリンピックメダリストと話そう!!

湘南学園後援会企画
SHONAN GAKUEN SUPPORT GROUP

4月20日（土）昼休み-13時
＠学園カフェテリア!!

上原大祐 さん

2010年・銀メダリスト

講演会も参加可・13:15～
＠アリーナ棟3階大会議室

生まれながら障害（二分脊椎）を持ちながらも、小中高と普通学級で過ごす。幼少期は車椅子を置いて山や川で遊ぶことも多く、やんちゃな少年だった。19歳から自分の個性を活かし、自分自身を最大限に表現できる1つの「手段」としてアイススレッジホッケー（現在名・パラアイスホッケー）の練習に本格的に取り組み始める。競技歴わずか4年でトリノパラリンピック日本代表として選出され、日本人選手最多のゴールを決め、世界ランキング4位の成績を収める。**2010年バンクーバーパラリンピックでは準決勝のカナダ戦で価千金の決勝ゴールを決め銀メダル獲得！（当日は銀メダルもご持参下さり、皆さんご覧頂けます！）**その後、本場のアメリカで単身武者修行。ソチ出場を目指したが世界最終予選で出場権を獲得できず一度引退。平昌パラリンピック最終予選を前に現役復帰し、今度は運動量と経験を生かしたディフェンシブな選手としてチームを支え、2大会ぶりのパラリンピック出場へ大きく貢献した。競技生活の傍ら、パラアイスホッケーの魅力や障害の有無に関わらず楽しめるスポーツということを伝えるために「会う・話す・見てもらう」をモットーに競技の普及活動にも力を入れており、子どもたちの体験会や、障害を持つ子どもたちを集めてのスポーツキッズキャンプを企画している。特定非営利活動法人 D-SHiPS32代表。長野県出身。

SHONAN GAKUEN